



2018 **7** July

平成 30 年 7 月 1 日発行  
第 19 卷第 7 号 通算 221 号  
編集兼発行人 山本 久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒113-0021  
東京都文京区本駒込 6-6-11  
☎ 03-5319-3490  
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

信のとびら

## 自己鍛錬

じこたんれん

水谷随歎

早いもので今年ももう半分過ぎ、  
折り返しです。7月は、夏期参詣で  
す。各々目標を立て家族揃って参詣  
できるよう勧めてください。仕事の  
ある方も学校のある方も、夏期参詣

中にお寺に行く予定を立てるなど  
して、今年後半のご奉公も、充実し  
たものにさせていただきましょう。  
さて、どんな仕事でも、真心を  
もってつとめることが大切です。そ

れを忘れて、義務だからとか、給料を貰うからということでは、結果は薄っぺら、その人には何の向上もありません。ご奉公も同様です。ご弘通の功德を積みつつ、人にとって大切な自己鍛錬を行うところに価値があります。

普通、奉公とは、社長（上司）であつたり会社、国や社会に仕えるという意味で使われています。しかし信心では、修行することや御法やお寺のために無私で尽くすという意味です。

信者にとって大切な御法のため

のご奉公ですが、一所懸命つとめていても手応えが感じられない、わからないことも多いと思います。仏は、我々にこうしろああしろとは要求しません。要求が無くても、仏の心を推し量り、こちらから一方的にお仕えするのが奉仕というものです。そうすることで、ご奉公の精神が鍛えられます。その奉仕の精神を実生活（仕事等）にも活用するので、そうすれば、周囲の人からも、会社の同僚などからも、信頼され喜ばれる結果を生むことが出来るでしょう。見返りを求めたり、報酬の

額などで働き方を変える人と、ご奉公精神で仕事をする人とは、必ず大きな差が出来てきます。

親には孝行をし、人には親切にする。それが出来る人間の集まりが、異体同心でご奉公に励める信者です。異体同心についての御指南には、「相手の心になってものを考え、周りの人を立てて自分は出しゃばらない、口を慎んで皆の活気が湧くように心を配ることを実践すること」と説かれています。ご奉公は、周囲の人の気持ちを汲み、互いが皆のために心を配ることで、それが大

事なのです。

しかし、人が集まると人のご奉公を無視したり、無闇に反対したり、皆のヤル気を削ごうとしたりする人もいるものです。たとえば、こうした異体同心の和を乱す人がいたとしても辛抱して継続する、そこにご奉公の貴い価値があり、また醍醐味があるのです。

ご奉公で心を鍛え、大切なことは何か、そしてそれが価値のある事だと見だし身に付けてほしいものです。

# 7月のご奉公のすすめ

夏期参詣が始まります。妙法を信ずる信者として、一か月間の参詣の中から現証利益の喜びをつかみ取る決意を持ちましよう。

## 一、随喜轉教について

夏休みこそ子供達に祈願をすすめる良いチャンスです。海や山に外出する機会も多くなります。家族の会話を増やして、いつも守られている喜びを伝え合い祈願をかけるようすすめます。

- ・「開講本旨再興祈願」朝参詣週間 1日(日)～7日(土)
- ・「開講本旨再興祈願」口唱会 29日(日) 午前9時半
- ・若い人の口唱会 29日(日) 午前10時半

## 二、夏期参詣について

7月1日(日)から31日(火)までの31日間、勤行は午前7時から8時半、ご法門は7時45分からです。日曜日にはご利益談の発表があり、おうどんのご供養もあります。

## 7月の寺内行事予定表

1日～7日	開講本旨再興祈願 朝参詣週間
1日(日)	夏期参詣開始
1日(日)	開講本旨再興祈願総講 午前10時半
5日(木)	夏季総回向ご回向・塔 婆申込み締切
7日(土)	運営会議 午前9時半 開講本旨再興祈願総講 午前10時半
13日(金)	高祖大士御命日総講 午前10時半
14日(土)	連合幹事会 午前9時半

参詣促進コーナーでは、弘通部で用意する千代紙を使って朝顔を折り、皆さんのよろこび、俳句等を書いて所定の壁に貼っていただきます。

### 三、夏季総回向

7月22日(日) 夏季総回向が本堂で午前10時より、六角堂では午後12時半時より奉修されます。ご回向、お塔婆は教区でまとめて7月5日(木)までに寺務所にお申し込み下さい。

### 四、日晨上人祥月御命日法要の予告

8月26日(日) 午前10時半よ

り奉修されます。先師上人のお陰に感謝し、報恩の思いを新たにし、家族班内さそいあってお参詣させて頂きましょう。

お香料、お塔婆、参詣人数の締め切りは8月9日(木)です。

### 五、くんげ会・蓮華会合同御講の予告

8月19日(日) 午前10時半より本堂にて奉修されます。佛立本旨講の未来を担う若い方達の合同御講です。一人でも多く参詣できますよう早目の将引ご奉公に気張りましょう。

// 後続者育成係連絡会

午前10時半

17日(火) 開導聖人御命日総講

午前10時半

22日(日) 夏季総回向法要

午前10時

同六角堂 午後12時半

25日(水) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

// 正副教区長会

午後12時半

一地区…和室

二地区…2階ホール

三地区…1階ホール

29日(日) 開講本旨再興祈願口唱

会 午前9時半

31日(火) 夏期参詣終了

# 楽しかった蓮華会錬成会

5月  
20

晴天に恵まれ、まさに錬成会  
日和ひより。まずは予定の、日本科学  
未来館を見学。新しい科学技術  
を映像や、実物大の模型で見た  
り、楽しみました。

その後、潮風公園に移動して

楽しいゲームで交流。

今回は初めての方もいらつ  
しゃり、今後、このような活動  
を続けていき、新しい方がもつ  
と参加出来るようしていきたい  
と思います。



「なべなべ底抜け」ゲーム



「しっぽ取り」ゲーム



大縄跳び

## 平成30年5月の寺内行事報告

1日～7日 「開講本旨再興祈

願 朝参詣週間」

1日(火) 開講本旨再興祈願

総講を午前10時半より奉修

5日(土) 運営会議を午前9

時半より開催

12日(土) 連合幹事会を午前

9時半より開催

// 後続者育成連絡会を

午前10時半より開催

13日(日) 高祖大土御命日総

講を午前10時半より奉修

14日(月) 日歡上人祥月御命

日法要 御香料・塔婆・参

詣人数申込締切

# 聞泉寺 男性信徒交流助行

5月29

今回は第一回目の記念すべき交流お助行でした。お看経の後、男性信徒会の意義や方針について佐藤応昇師よりお話があり、

引き続き家室宏邦さんから御利益談発表が行われました。

昼食のご供養を頂きながらの歓談を通じて親睦を深めることが出来ました。次回9月30日予定されている静岡聞信寺への交流お助行には、聞泉寺の男性信徒の方々も御参詣頂ける事になり、交流お助行の定着化が図れそうです。



## お助行メモ

【御看経】

5月29日（火）10時半より

【参詣者】

妙應寺8名と佐藤応昇師

聞泉寺3名と益田照固導師

聞泉寺女性信徒応援参詣5名

17日（木）開導聖人御命日総

講を午前10時半より奉修

20日（日）蓮華会鍊成会 晨朝

勤行に併修 午前7時より

開催

// 開講本旨再興祈願口

唱会を午前9時半より奉修

25日（金）門祖聖人御命日総

講を午前10時半より奉修

// 正副教区長会を午後12

時半より開催

26日（土）日歡上人祥月御命

日法要準備ご奉公を午前9

時より開催

27日（日）日歡上人祥月御命

日法要を午前10時半より奉

修

# お祖師様の立教開宗を記念した五時間口唱会

4月  
29

9時半より立教開宗記念五時間口唱会が行われました。昨年よりも多くの家族参詣者があり、御祖師様への報恩感謝のお礼言上させて頂きました。小学生のY君（所沢教区）のリズムよい法鼓のおかげで、熱のもったお看経をあげることができました。

御看経前の御導師の言上（抄）は、次の通りです。

「高祖日蓮大士は、今を去ること、765年前の建長5年4月28日、御寿32歳、周遊歴学12年の末、釈尊出世の本懐をつきと

め、末法万年の闇を照破する大白法を握り、父母のいる房州に戻り、清澄山上の巖角に立つて、晝闇をついてのぼる朝日に向かつて、南無妙法蓮華経と声高らかに立教開宗の第一声を上げられました。

今、お祖師様の教えの流れを汲む我等は、蓮隆扇三祖の教えの正統を守るべく、日尚上人のお教えに従って、開講本旨再興を目指して、一步一步、歩みを進めております。

本日、高祖日蓮大士立教開宗の日を記念して、五時間口唱会

を開催し、報恩の思いをもって、『佛立本旨講』弘通隆昌発展、開講本旨再興を祈念するものがあります」





日 叡 上 人  
法 要

「御法は真実です。正直にお願い申せば、必ず御利益をいただけるもの」(御導師)

5月  
27



午前10時半より日叡上人祥月法要が奉修されました。本堂も昨年同様多くの御参詣があり、日叡上人の肉声御法門のスライドを通じて妙法口唱の大切さを学びました。

更に、御導師から次のような解説をいただきました。

「御法門に出てくる『腸満』と

はお腹が膨れ上がる病気の総称で、今の病名で言えば、腹膜炎や腸閉塞、肝硬変、卵巣腫瘍などです。現在の常識では、腹膜炎や腸閉塞を起こして自宅で唸っている状況は考えにくいですが、当時としては命がけの病気で、のるかそるかのおすがりだったのではないのでしょうか。

日叡上人は、御題目におすがりするには、叶うか叶わぬかという案ずる心を捨てよと仰せです。病気などに当面した場合に大丈夫かどうか心配する気持ちは誰でもあるだろうが、夢中に

なつて唱えて案ずる心を乗り越える、或いは応援祈願の皆さんの支えに感謝する気持ちで心配を打ち破ろうとする気持ちが大切です。

現証利益の勢いを衰えさせないためには、御題目をたくさん唱える、能所のうじよのけじめをキツパリつけることが重要です。能所とは、教えを伝える、教えを聞くで、その立場を明確にするという意味で、教えを伝えてくれる御講師を敬うことです。

日叡上人の御法門を伺って、開導聖人以来引き継がれてきた現証利益主義の原点を見つめなおし、これからの御奉公に活かして下さい」

# 交流会

普段は挨拶程度  
の信者仲間が  
交流のきっかけに  
この輪を更に、  
お寺の外にも  
広げましょう！



教室が喜びの声で盛り上がり  
ました。参加者がお寺に来る  
楽しみが増えたと喜びを語  
ってくれました。



参加者のコメント。「文字入  
力と電話登録のやり方がわ  
かりました。もっと基礎的  
なビギナー用の講義も願  
いします」



9時に二階ロビーに集合し  
てお茶した後、六義園へ約一  
時間の散歩に出かけました。

## 本堂改修工事が進んでいます

新築時から約24年が経過して  
いる本駒込本堂は、正しい手入  
れを続けられ、まだ70年以上  
の耐久性があると言われてい  
ます。現在、外壁タイルの点検  
と張り替え、屋上の防水強化  
工事などを7月末完成を目  
途に進めています。

引き続き、工事無事完了の  
御祈願をさせていただきます  
よう。

### 夏期参詣 私のようニ

朝顔は あさなあさなに ささかはり  
さわり久しき 花にぞ有ける 一日庵主人御教

1階ロビーに張り出されたこの朝顔棚に、お教  
化、信行相続が出来た喜び、更に、お教  
助行ができたことなど身近な喜びを書いて千代  
紙で折った朝顔に書き込んで張り出しましょう。



お寺参詣は有難い

鎌谷信平師



うになりました。と話して下さいました。

### ③ 寒参詣将引の体験談です

思い切つて将引の電話をしてみたところ、義兄が出るなり「ただお参詣できていませんが明日は必ず夫婦二人で行かせて頂きます。申し訳ない」と言ってくれました。次の日お参詣できた喜びの電話がありました。もう一声かける将引の大切さを話して下さいました。

妙應寺は乗泉寺時代からお寺参詣を盛り上げて栄えてきた歴史があります。目標を立て夢中になつてお参詣しましょう。ご利益を頂き喜びの輪が広まり参詣者が増えるようご奉公させて頂きましょう。

お寺参詣は苦を離れて徳益を得る修行です。進んでお寺参詣・御講参詣させて頂きましよう。お寺参詣で頂いた体験談を紹介致します。

### ① 長年の朝参詣の中で頂いた罪障消滅轉重軽受の体験談です

「私のお店が火災を起こしてしまいました。なぜ、こんな事になつてしまったのだろうと自分を責めつつも、罪障消滅と気付き、毎日のお寺参詣はやめませんでした。家族は『ママが信心しているから、けが人も出ず、テナントの人にも迷惑をかけず

無事にお店も再開できた』と言つてくれました。そして、家族皆で御宝前に向かうようになりました」とお参詣を続けて知つた喜びを話して下さいました。

### ② 会社に行く前に朝参詣する男性信徒の体験談です

実家の諸問題を本気で考えたとき、自分ではどうにかできるところではなく、御法様におすがりするしかないと開門参詣を始めることができました。御法様にお願ひしてすすめば、必ず良い方向に導いて下さると思えるよ

## 父からの信心

品川教区 Tさん

今から八十年前、父は東京でタクシーの運転手をしておりました。お客さんで乗ってくださった方が乗泉寺の強信者さんで、Jさんと言う方で、熱心に

父に信心を勧めたそうですが、父はためらっておりませんでした。けれど、Jさんの熱意に心を打たれて入信しました。奉安して三日目に御本尊様から光が出て怖くなり、御本尊を返そうといったそうです。母は一週間の約束だから待ちましようといったそうです。一週間後に会社の社長から呼び出され車を貸してあげ

るから独立するように言われました。父は御利益をすぐに感得

しました。母も経済的に恵まれました。御利益御利益と喜んでおりました。父は大変に気性の激しい人で、自分の心が怖かったと思います。このご信心にお出会いしていません。家族は持てなかつたといっておりました。父の人生は波乱万丈でした。その度に御法様に助けられて、お看経の大切さを教えられました。子供六人を信行相続させ、一人息子をお寺に「得度」させました。父は、自分達夫婦は日本一幸せと喜んでおりました。また、御導師には影の様にお仕えしました。信者さんたちからは、東北

の大久保彦左衛門と呼ばれていました。臨終のときには、大好きな御供水さんを沢山頂き、皆お唱えしているかと最期の言葉を残して、八十五歳で臨終を迎えました。葬儀の時には、東北六県からご住職さん達が参列して下さり、大勢の方々のお題目に送られ、父はなんて幸せな人なんだと思います。有難くて、有難くて涙が止まりませんでした。この人はただの信者ではないと思いたい父の偉大さを初めて知りました。

このご信心を授けてくれた両親に感謝しております。父の様にはできませんが老体にむちうって御弘通ご奉公にはげんごまいります。

■私のよろこび

やみ ちようちん

## 一寸先は闇の提灯

かながわ北教区 Sさん

これまで、健康である事を一番の自慢にして来た私が、二月、早朝お寺参詣の準備中にこれまでとは違うめまいを感じ、ご奉公をおやすみする旨弘通部の久米さんに電話をしたところ「病院へいきなさいよ」と病院嫌いの私を心配して何度も勧めてくれました。その日は、仕事を持っている娘がちょうど休みの日でしたので、近くの病院へすぐに連れて行ってもらいました。病院ではすぐにMRI、血液検査など色々な検査の結果「脳幹に出血がみられます」このまま入院してくださいと診断でした。私は注射一本ぐらいして

もらって帰るつもりでしたのでびつくりで、一瞬ご奉公のことが頭の中でいっぱいになり「一時間くらい用事があるから家に戻れますか」と、先生に聞きました。教区の方から預かっている提出の書類やお布施を他の方にお願ひしたかったです。「それは出来ません。死ぬつもりですか？」と言われ。やむ無くそのまま入院となりそれから大量の点滴による治療がはじまりました。娘にご奉公の事を頼み、Tさんに取りにきていただき、本当にほっとしました。夜になって担当の先生が、寝台のわきに走ってきて、OKサイン

を出して「脳幹出血でこんなに軽く済んだ人は本当に珍しいです、もう大丈夫ですよ」と看護師さんたちとみんな嬉んでくださいました。私は「あッ、本当にお計らいを頂きありがとうございます」と心の中で何度も何度もお礼を申し上げていました。この度は、たくさんのお計らいを頂きました。私に病院へ行くように強く進めてくださった方がいたこと、娘がたまたま家に居たこと、治療が早かったこと、等々、全て御法様からのお計らいをいただきました。これからは、娘や孫たちの信行相続の為ますます信心増進にとめます。又、私の残された人生を精一杯の御奉公で締めくくるつもりでおります。

ありがとうございます。

## 息子さんにもご奉公を

かながわ南教区 Sさん

お助行の日の朝は春の嵐の雨降りで、困ったなと思っていましたが、その後、とてもいい天気になりました。お寺より出発した方達はKさん宅まで二時間近くかかりますので、大変だったと思います。

Kさんは、久野信友師の息子さんです。三人の娘さんがおりますが、皆社会人になられ、今回はお目にかかれませんでした。Kさん夫婦はお寺の行事に

はよくお参詣されます。今回はKさんに連合の甲御講の車の運転手のご奉公とお会式のご奉公のお願いのお話をさせて頂きました。Kさんは「土日は仕事がないので休みの日には大丈夫ですよ」と気持ちよくお返事を頂きました。

こうしてお助行に行かせて頂いて、お話できたことは良かったです。

## 詰助行

は妙應寺信者にとって大切な菩薩行実践の一つです。本人・家族の祈願、お継すりの決意を受けて、皆で応援助行させて頂きます。毎朝晨朝勤行終了後、百日参詣体操に引き続き、午前8時55分くらいまで、信者が導師となつて参詣者全員でお看経をします。

多くの方がご利益のよろこびを体験しております。



# ★こどもたちの会★

原案：柳沢朱代  
作画：富家花代

## 「なぜ信心をあるかの理由！」

<p>偶然でも何でも無事で 過ごせる事は、ありがたい でしょ？</p> <p>でも、そんなの 偶然かもしれないよ!!</p>	<p>なあに？ どうしたの？</p> <p>おばあちゃん！ おばあちゃん!!</p>
<p>ありがたい事があつたら、 ありがとうございますと声に 出してお礼をするんだよ。</p> <p>たしかに... それはそうだけど...</p>	<p>それはね、一分一秒先に 何が起こるか分からない からだよ。</p> <p>おばあちゃんはまだ どうしてご信心して いるの？</p>
<p>他にも沢山のお護りを 頂いている事に気付く様 になるよ。</p> <p>すると どうなるの？</p>	<p>この前の事なんかに けい、買物に行く途中 中に靴が抜けてしまっ て、</p> 
<p>そうだよ！苦しい時もありが とうございますと言えば、 苦しみを乗り越えられるからね。</p> <p>それでいつも 「ありがとうございます って言っているんだネ！」</p>	<p>前にかんた時に、車が目の 前を横切ったんだよ。</p> 
<p>そういう事だよ！ ありがとうございます だね!!</p> <p>だからおばあちゃんは ご信心をしているんだね。</p>	<p>そうなんだよ！仏様が 靴化を脱がせて助けて 下さったんだよ。</p> <p>そのまま歩いてたら、 ひかれちゃったかも しれないんだね...</p>

御本尊  
授与式



信徒名 目黒教区 Oさん